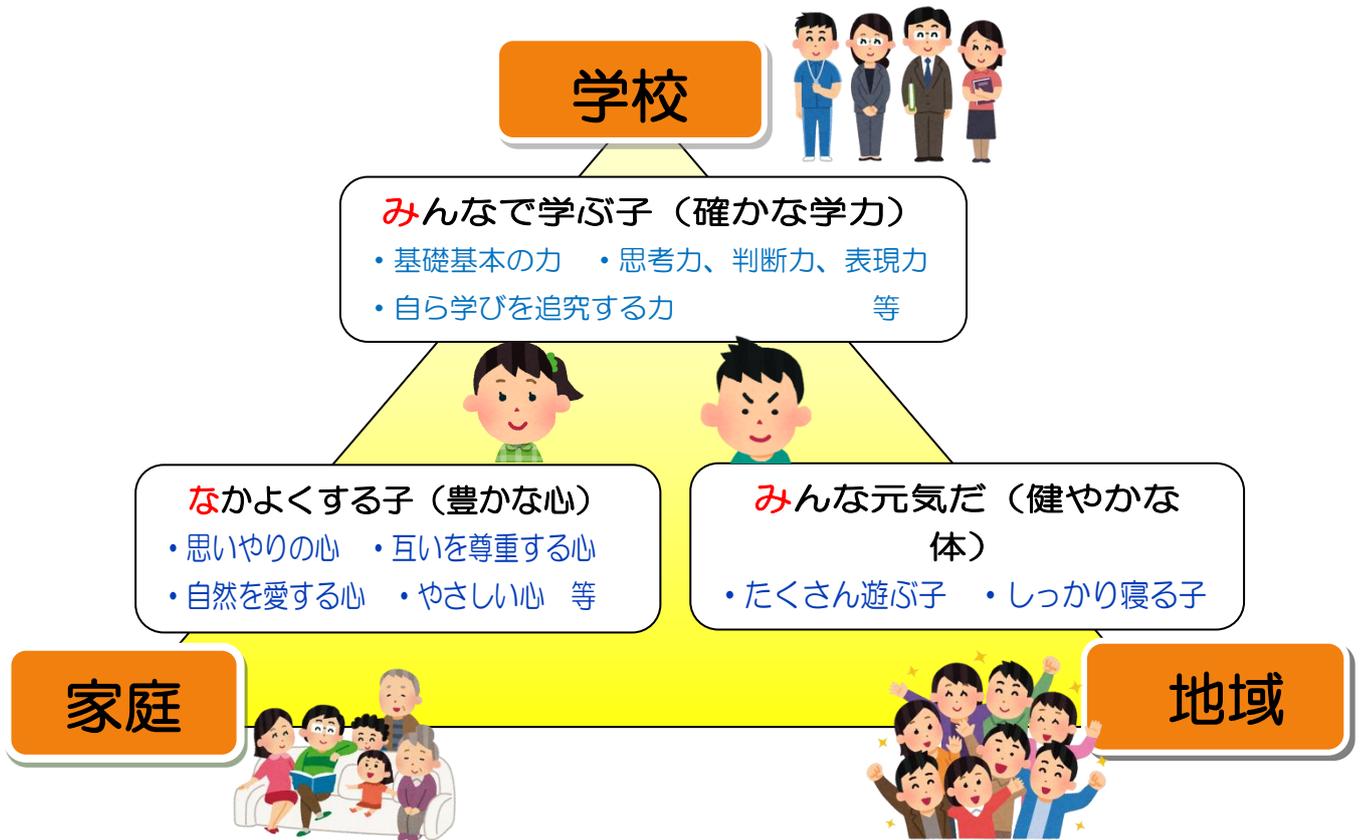


教育目標

「自ら学び共に生きる心豊かな子どもを育成する」



『学校評価の目的』

- 各校が学校運営について目標を設定し、その取り組みを評価することによって、学校として改善を図る。
- 学校評価を家庭や地域と共有することで、保護者や地域住民等からの理解と参画を得て、学校、家庭、地域が一体となって学校づくりを進める。
- 学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善を図ることで、教育水準の向上を図る。

★学校評価報告書の見方★

○内容は、各部会の主な取り組みと成果や課題です。

○各項目の評価点は、以下の基準で教職員全員が評価した際の平均点です。

4…十分達成できた

3…達成できた

2…取り組んでいるが成果は十分ではない

1…成果が不十分である

みんなで学ぶ子【確かな学力の向上】

朝の帯学習は、分散登校を早めることで学年をそろえて取り組むことができました。読書に加えて、算数、漢字プリントで基礎の定着を図り、放課後学習と合わせて、毎日の積み重ねが、市で実施している「あまっ子ステップアップ調査」に成果として表れていました。学年差はあるものの、ほとんどの学年が国語・算数ともに全国平均を上回ることができました。5年生と全国学力・学習状況調査において、算数に課題があった6年生の伸びが顕著に表れていることから、弱い単元の強化に地道に取り組むことで学力の底上げにつながっていることがわかりました。それ以外にも、本や新聞を読むこと、学習を計画的・思想的に取り組む姿勢や自分以外の違う考えを尊重し、相手に伝える力の向上が学力アップにつながることが結果として出ていました。読書の習慣や中身の充実、学びの中でいろいろな言葉に触れる機会を持つことで、見方や考え方を広げて表現力を高めることの重要性を再認識しています。

全学年で取り組んでいる自主学習ノートの成果を日頃から、よいお手本となるノートやワークシートを掲示して意欲向上を図っています。今年度は、自主学習ワークで基礎、応用部門のそれぞれに賞を設けて展示し、各自の自慢のノートを見て回る期間を設けました。自主学習の向上と充実と奏功しました。

今年度は、後半からタブレット活用が本格的に進んだことが授業スタイルや学びの記録、評価としての活用に大きく影響したといえます。朝の帯学習に活用するなどスキルの向上は目覚ましく、特に3学期は家庭学習との併用やオンライン授業などに大いに役立てることができました。一方で、タブレットに向かう時間が増えたことが読書量や外遊びの減少につながることから、使い方のルールを見直すことになりました。これからは、先進的な取組や課題に即した活用方法を検討し、バランスの取れた効果的な使い方を模索する必要があります。今後も、効果ある学びの仕掛けで、より意欲が高まる手立てを講じてまいります。

なかよくする子【豊かな心】

コロナ禍での感染不安や感染対策の影響から、さまざまな制限ある日常が、人との関わり方や行動、活動内容に変化をもたらしています。加えて、マスクで表情がわかりづらく、必然的にストレスがたまる生活が続いています。そのためか、登校しづらい児童が増えてきたように感じます。

オンラインでつながっていることは安心につながりますが、人との関わりの中でこそ育つものがたくさんあるのが学校です。児童会活動を中心に、あいさつ、もくもく掃除、生活のめあてを意識して取り組みました。昨年度は出来なかった異学年交流や、体育大会での応援団など生き生きとした姿で成長が見られました。今後も、自主的な活動が活発になるよう後押ししていきたいと考えます。

みんな元気だ【健やかな体】

感染対策の習慣化を中心に委員会活動に取り組み、意識して学校生活を送っていました。制限のある中ですが、体育の授業を中心に、楽しみながら健康的な体づくりと体力向上を目指して、工夫したカリキュラムを実施しました。状況に応じて計画を見直すなど、行事のあり方に熟慮しましたが、充実感、達成感につなげることができたと感じています。

今年度は、2学期に行事が集中し、子どもたちにとって多忙な生活が続きました。特に3学期は感染者が急増し、不安が続く状況で、ご心配とご迷惑をおかけしました。年間を通して普段の様子を見て頂ける機会が限られてしまいましたが、温かい気持ちで支えて頂いたことに深く感謝しております。

安心して思いっきり活動できる日を願って、「チーム園田南」でこれからも頑張ってまいります。重ねてのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《保護者アンケートの結果》

